

令和 7 年度

定期総会議案書

日時： 令和 7 年 6 月 8 日(日) 14:00～15:00

場所： ミライエ長岡 ミライエステップ

一般社団法人新潟県言語聴覚士会

目次

総会次第	1
------	---

<審議事項>

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算についての件	2
-----------------------------	---

<報告事項>

報告1 組織体制についての件	11
報告2 令和7年度事業計画および収支予算についての件	13
報告3 ホームページリニューアルおよび定期発送についての件	18
報告4 日本言語聴覚士協会と各都道府県士会の連携体制についての件	18
報告5 臨床実習指導者講習会についての件	19
報告6 会員クラウド管理の導入中止についての件	19
報告7 第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会についての件	19

一般社団法人新潟県言語聴覚士会

令和 7 年度定期総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 議事録署名人選出
4. 定足数報告
5. 議事（審議事項）

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び収支決算についての件

6. 議事（報告事項）

報告 1 組織体制についての件

報告 2 令和 7 年事業計画および収支予算についての件

報告 3 ホームページリニューアルおよび定期発送についての件

報告 4 日本言語聴覚士協会と各都道府県士会の連携体制についての件

報告 5 臨床実習指導者講習会についての件

報告 6 会員クラウド管理の導入中止についての件

報告 7 第 3 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会についての件

7. その他

8. 閉会宣言

※ご欠席の場合は委任状（Web 申請）を 5 月 30 日（金）までにご提出ください。

※総会出席時には、この総会資料をお手元にご用意ください。

第1号議案 令和6年度事業報告および収支決算についての件

令和6年度事業報告

1. 県士会全体 <会長> 佐藤卓也

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会、地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し、地域包括ケアシステムの推進に努めた。
- (2) 第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会の主幹担当士会として実行委員会を組織し、県理学療法士会および県作業療法士会と連携して準備を開始した。
- (3) (一社)日本言語聴覚士協会および都道府県士会と連携し情報交換を行った。
- (4) 日本言語聴覚士協会の士会協会連携体制構築に協力した。
- (5) 文科省・厚労省からの言語聴覚士養成所指定規則の改定が公布されたことに伴い、臨床実習指導者養成に向けて協力した。
- (6) 会員に向け、情報提供・事業説明などを行った。
- (7) 県民フォーラム、スポーツイベントと連動して言語聴覚士の啓発活動を行った。

2. 事務局 <事務局長> 田村俊暁

財務部 <部長> 竹内やよい

- (1) 県士会の財務管理を行った。
- (2) 会費の管理と納入督促を行った。また、未納金に対する対策を検討した。
- (3) 総会において、会計報告を行った。
- (4) 会計監査に関わる業務を行った。

総務部 <部長> 西野陵輔

- (1) 定期総会を開催した。
- (2) 理事会を8回開催した。
- (3) 3役会議を4回開催した。
- (4) 事務局会議を1回開催した。
- (5) 会員について、入退会など会員在籍事務を行った。
- (6) 刊行物、その他の発送および管理を行った。
- (7) 外部団体との連絡窓口として情報の整理、配信、発信を行った。
- (8) 広報部と連動し、ホームページをリニューアルした。

情報管理部 <部長> 蓮子浩行

- (1) 会員管理システムの導入を検討した。

3. 学術局 <学術局長> 落合勇人

教育研修部 <部長> 落合勇人

- (1) 学術局会議を4回開催した。
- (2) 研修会を2回開催した。
- (3) 他団体、他部局と共同し研修会を開催した。

生涯教育部 <部長> 長谷川史弥

- (1) (一社)日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの基礎講座を2講座・専門講座を1講座開催した。

学術大会部 <部長> 飛田靖人

- (1) 第11回新潟県言語聴覚士会学術大会部会を立ち上げた。
- (2) 学術大会部会を6回開催した。
- (3) 第11回新潟県言語聴覚士会学術大会に向けて準備を進めた。

4. 社会局 <社会局長> 井上真一

地域包括ケア推進部<部長> 本田俊一

- (1) 介護予防事業において、言語聴覚士の役割、多職種連携の必要性について啓発を行った。
- (2) 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会、新潟県リハビリテーション専門職協議会の活動に参画し、他団体と協同し活動を行った。
- (3) 地域ブロック代表者を中心とし、各市町村で開催される「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣調整、介護予防事業に関わる依頼に対応した。
- (4) 新潟県30市町村からの依頼に対応するため、地域ブロック代表者及び担い手の拡充を進めた。
- (5) 地域ブロック代表者会議を開催した。

災害対策部 <部長> 堂井真理

- (1) 県士会内の組織体制・支援体制の構築・連絡系統の整備に加えて、(公社)新潟県理学療法士会・(公社)新潟県作業療法士会・新潟県リハビリテーション研究会と共通マニュアル作成に取り組んだ。
- (2) 災害時のリハビリ支援や協力体制について「新潟県災害リハビリテーション連絡協議会(新潟JRAT)」や「新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会(新潟DWAT)」新潟大学医学部災害医療教育センター」など他団体と連携を図った。
- (3) 令和6年9月「大雨・豪雨災害」にて会員の安否状況・被害状況確認を行った。
- (4) 令和7年2月に新潟県災害リハビリテーション連絡協議会(新潟JRAT)と新潟県は、災害時の支援チーム派遣に関する包括的な協定を締結した。

失語症者向け意思疎通支援事業推進部 <部長> 田村俊暁

- (1) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業において、新潟県と連携して事業を推進した。
- (2) 厚生労働省主催の失語症者向け意思疎通支援者養成研修講師養成研修会に会員を派遣した。
- (3) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修の令和7年度開催に向けて体制を整えた。
- (4) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業に向けて情報を発信した。

学校教育・発達支援連携部 <部長> 志塚めぐみ

- (1) 11年目になるST無料派遣事業を14件実施した。
- (2) (一社)日本言語聴覚士協会「学校教育連携担当者連絡協議会」、「障害福祉(福祉事業所・小児医療療育施設)担当者連絡協議会」に参加し、全国の動向と自県の課題の把握に努めた。

5. 広報局 <広報局長> 堂井真理
編集・HP管理部 <部長> 五十嵐武士

- (1) 広報誌を年3回発行した。
- (2) ホームページのリニューアルを行い、会員・県民に向けた充実した情報提供・県士会活動の啓発を行った。

外部広報部 <部長> 田村和子

- (1) 令和6年6月1日に第17回新潟福祉機器展、令和6年9月14～15日にすこやか・ともしびまつり2024にブース出展し言語聴覚士と言語聴覚療法の普及啓発に努めた。
- (2) 令和6年11月24日に、県民を対象にした「第2回新潟県言語聴覚士会 県民フォーラム～目に見えない障害 失語症を語ろう」を主催し、失語症を中心に言語聴覚療法の情報提供と相談を実施した。
- (3) 「言語聴覚の日」イベントとして、令和6年12月28日に、男子プロバスケットボールリーグB.LEAGUE 新潟アルビレックスBB公式戦の冠試合を（一社）日本言語聴覚士協会と共催した。会場内でのCM動画上映やロゴの掲示等の他、ブース出展やSNSのフォロワー獲得などを通し言語聴覚士の知名度向上を図った。

令和6年度収支決算報告

貸 借 対 照 表

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	2,946,160	3,620,315	△ 674,155
流動資産 合計	2,946,160	3,620,315	△ 674,155
2 固定資産			
什器備品	95,722	384,190	△ 288,468
一括償却資産	100,334	235,001	△ 134,667
積立資産	787,915	712,586	75,329
固定資産 合計	983,971	1,331,777	△ 347,806
資産合計	3,930,131	4,952,092	△ 1,021,961
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	0	30,800	△ 30,800
前受金	234,000	93,000	141,000
預り金	1,136	0	1,136
流動負債 合計	235,136	123,800	111,336
2 固定負債			
該当なし	0	0	0
固定負債 合計	0	0	0
負債合計	235,136	123,800	111,336
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	3,694,995	4,828,292	△ 1,133,297
正味財産合計	3,694,995	4,828,292	△ 1,133,297
負債及び正味財産合計	3,930,131	4,952,092	△ 1,021,961

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表

(1 / 4)

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日
(単位: 円)

科 目	学 術 局				
	生涯教育部	学術大会部			小 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入会金	—	—	—	—	—
②受取会費	—	—	—	—	—
正会員受取会費	—	—	—	—	—
賛助会員受取会費	—	—	—	—	—
永年会員受取会費	—	—	—	—	—
③事業収益	96,000	339,000	0	0	435,000
④受取補助金	50,000	—	—	—	50,000
⑤受取寄附金	—	—	—	—	—
⑥雑収益	17	200	0	0	217
受取利息	17	200	0	0	217
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	146,017	339,200	0	0	485,217
(2) 経常費用					
①事業費	522,844	606,544	0	0	1,129,388
消耗品費	48,799	24,397	0	0	73,196
減価償却費	0	134,988	0	0	134,988
旅費交通費	102,470	47,646	0	0	150,116
通信運搬費	0	0	0	0	0
支払手数料	495	220	0	0	715
会議費	64,000	170,000	0	0	234,000
諸会費	60,000	0	0	0	60,000
研修教育費	0	0	0	0	0
印刷製本費	0	0	0	0	0
諸謝金	144,780	100,231	0	0	245,011
広報費	0	0	0	0	0
渉外費	0	11,912	0	0	11,912
会場費	102,300	117,150	0	0	219,450
支払寄附金	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
②管理費	—	—	—	—	—
広報費	—	—	—	—	—
消耗品費	—	—	—	—	—
租税公課	—	—	—	—	—
減価償却費	—	—	—	—	—
渉外費	—	—	—	—	—
旅費交通費	—	—	—	—	—
通信運搬費	—	—	—	—	—
支払手数料	—	—	—	—	—
会議費	—	—	—	—	—
諸会費	—	—	—	—	—
支払寄附金	—	—	—	—	—
研修教育費	—	—	—	—	—
印刷製本費	—	—	—	—	—
雑費	—	—	—	—	—
経常費用計	522,844	606,544	0	0	1,129,388
当期経常増減額	△ 376,827	△ 267,344	0	0	△ 644,171
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 376,827	△ 267,344	0	0	△ 644,171
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—

正味財産増減計算書内訳表

(2/4)

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日
(単位: 円)

科 目	社 会 局				
	地域包括ケア推進部	災 害 対 策 部	失 語 症 者 向 け 支 援 者 養 成 事 業 推 進 部	学 校 教 育 ・ 発 達 支 援 課 課	小 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入会金	—	—	—	—	—
②受取会費	—	—	—	—	—
正会員受取会費	—	—	—	—	—
賛助会員受取会費	—	—	—	—	—
永年会員受取会費	—	—	—	—	—
③事業収益	200,000	0	1,659,000	0	1,859,000
④受取補助金	—	—	—	—	—
⑤受取寄附金	—	—	—	—	—
⑥雑収益	111	52	296	21	480
受取利息	111	52	296	21	480
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	200,111	52	1,659,296	21	1,859,480
(2) 経常費用					
①事業費	225,830	0	1,690,611	81,762	1,998,203
消耗品費	5,400	0	34,974	948	41,322
減価償却費	119,300	0	121,063	0	240,363
旅費交通費	11,060	0	102,080	0	113,140
通信運搬費	0	0	58,490	1,780	60,270
支払手数料	4,070	0	220	1,650	5,940
会費	86,000	0	329,349	0	415,349
諸会費	0	0	0	0	0
研修教育費	0	0	12,000	0	12,000
印刷製本費	0	0	214,500	0	214,500
諸謝金	0	0	462,173	77,384	539,557
広報費	0	0	0	0	0
渉外費	0	0	0	0	0
会場費	0	0	355,762	0	355,762
支払寄附金	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
②管理費	—	—	—	—	—
広報費	—	—	—	—	—
消耗品費	—	—	—	—	—
租税公課	—	—	—	—	—
減価償却費	—	—	—	—	—
渉外費	—	—	—	—	—
旅費交通費	—	—	—	—	—
通信運搬費	—	—	—	—	—
支払手数料	—	—	—	—	—
会費	—	—	—	—	—
諸会費	—	—	—	—	—
支払寄附金	—	—	—	—	—
研修教育費	—	—	—	—	—
印刷製本費	—	—	—	—	—
雑費	—	—	—	—	—
経常費用計	225,830	0	1,690,611	81,762	1,998,203
当期経常増減額	△ 25,719	52	△ 31,315	△ 81,741	△ 138,723
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 25,719	52	△ 31,315	△ 81,741	△ 138,723
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—

正味財産増減計算書内訳表

(3/4)

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日
(単位:円)

科 目	広 報 局			特 別 委 員 会	
	編 集 ・ H P 管 理 部	外 部 広 報 部	小 計	県 士 会 設 立 20 周 年 記 念 式 典 運 籌 委 員 会	小 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入会金	—	—	—	—	—
②受取会費	—	—	—	—	—
正会員受取会費	—	—	—	—	—
賛助会員受取会費	—	—	—	—	—
永年会員受取会費	—	—	—	—	—
③事業収益	0	0	0	0	0
④受取補助金	—	500,000	500,000	—	—
⑤受取寄附金	—	—	—	—	—
⑥雑収益	19	72	91	277	277
受取利息	19	72	91	277	277
雑収益	0	0	0	0	0
経常収益計	19	500,072	500,091	277	277
(2) 経常費用					
①事業費	600,050	1,511,307	2,111,357	0	0
消耗品費	0	18,296	18,296	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	91,880	91,880	0	0
通信運搬費	0	45,114	45,114	0	0
支払手数料	550	660	1,210	0	0
会議費	0	263,000	263,000	0	0
諸会費	0	0	0	0	0
研修教育費	0	0	0	0	0
印刷製本費	77,000	9,000	86,000	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
広報費	522,500	988,037	1,510,537	0	0
渉外費	0	2,700	2,700	0	0
会場費	0	92,620	92,620	0	0
支払寄附金	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
②管理費	—	—	—	—	—
広報費	—	—	—	—	—
消耗品費	—	—	—	—	—
租税公課	—	—	—	—	—
減価償却費	—	—	—	—	—
渉外費	—	—	—	—	—
旅費交通費	—	—	—	—	—
通信運搬費	—	—	—	—	—
支払手数料	—	—	—	—	—
会議費	—	—	—	—	—
諸会費	—	—	—	—	—
支払寄附金	—	—	—	—	—
研修教育費	—	—	—	—	—
印刷製本費	—	—	—	—	—
雑費	—	—	—	—	—
経常費用計	600,050	1,511,307	2,111,357	0	0
当期経常増減額	△ 600,031	△ 1,011,235	△ 1,611,266	277	277
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 600,031	△ 1,011,235	△ 1,611,266	277	277
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表

(4 / 4)

一般社団法人 新潟県言語聴覚士会

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日
(単位：円)

科 目	法 人 会 計 (事 務 局)				内部取引消去	合 計
	総 務 部	財 務 部		小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①受取入会金	28,000	0	0	28,000	—	28,000
②受取会費	3,339,000	0	0	3,339,000	—	3,339,000
正会員受取会費	3,270,000	0	0	3,270,000	—	3,270,000
賛助会員受取会費	60,000	0	0	60,000	—	60,000
永年会員受取会費	9,000	0	0	9,000	—	9,000
③事業収益	0	0	0	0	—	2,294,000
④受取補助金	0	0	0	0	—	550,000
⑤受取寄附金	0	0	0	0	—	0
⑥雑収益	211	0	0	211	—	1,276
受取利息	211	0	0	211	—	1,276
雑収益	0	0	0	0	—	0
経常収益計	3,367,211	0	0	3,367,211	—	6,212,276
(2) 経常費用						
①事業費	—	—	—	—	—	5,238,948
消耗品費	—	—	—	—	—	132,814
減価償却費	—	—	—	—	—	375,351
旅費交通費	—	—	—	—	—	355,136
通信運搬費	—	—	—	—	—	105,384
支払手数料	—	—	—	—	—	7,865
会費	—	—	—	—	—	912,349
諸会費	—	—	—	—	—	60,000
研修教育費	—	—	—	—	—	12,000
印刷製本費	—	—	—	—	—	300,500
諸謝金	—	—	—	—	—	784,568
広報費	—	—	—	—	—	1,510,537
渉外費	—	—	—	—	—	14,612
会場費	—	—	—	—	—	667,832
支払寄附金	—	—	—	—	—	0
雑費	—	—	—	—	—	0
②管理費	1,642,920	463,705	0	2,106,625	—	2,106,625
広報費	10,000	0	0	10,000	—	10,000
消耗品費	133,324	0	0	133,324	—	133,324
租税公課	0	0	0	0	—	0
減価償却費	47,784	0	0	47,784	—	47,784
渉外費	1,650	0	0	1,650	—	1,650
旅費交通費	287,496	0	0	287,496	—	287,496
通信運搬費	178,106	0	0	178,106	—	178,106
支払手数料	128,728	1,705	0	130,433	—	130,433
会費	602,560	0	0	602,560	—	602,560
諸会費	5,000	0	0	5,000	—	5,000
支払寄附金	0	0	0	0	—	0
研修教育費	0	0	0	0	—	0
印刷製本費	0	0	0	0	—	0
雑費	248,272	462,000	0	710,272	—	710,272
経常費用計	1,642,920	463,705	0	2,106,625	—	7,345,573
当期経常増減額	1,724,291	△ 463,705	0	1,260,586	—	△ 1,133,297
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	—	0
経常外収益計	0	0	0	0	—	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	—	0
経常外費用計	0	0	0	0	—	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	—	0
当期一般正味財産増減額	1,724,291	△ 463,705	0	1,260,586	—	△ 1,133,297
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	4,828,292
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	3,694,995
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	—	0
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	0
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	0
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	3,694,995

(注) 貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄に記載しております。

令和7年4月21日

一般社団法人新潟県言語聴覚士会

会長 佐藤卓也 殿

監査報告書

私どもは、一般社団法人新潟県言語聴覚士会の令和6年度（令和6年6月1日～令和7年5月31日）の業務の執行および財産の状況につき監査を実施いたしました。

業務の執行は、定款、理事会の決議に基づき誠実に行われており、令和6年度の決算書は妥当なものと認めます。

以上

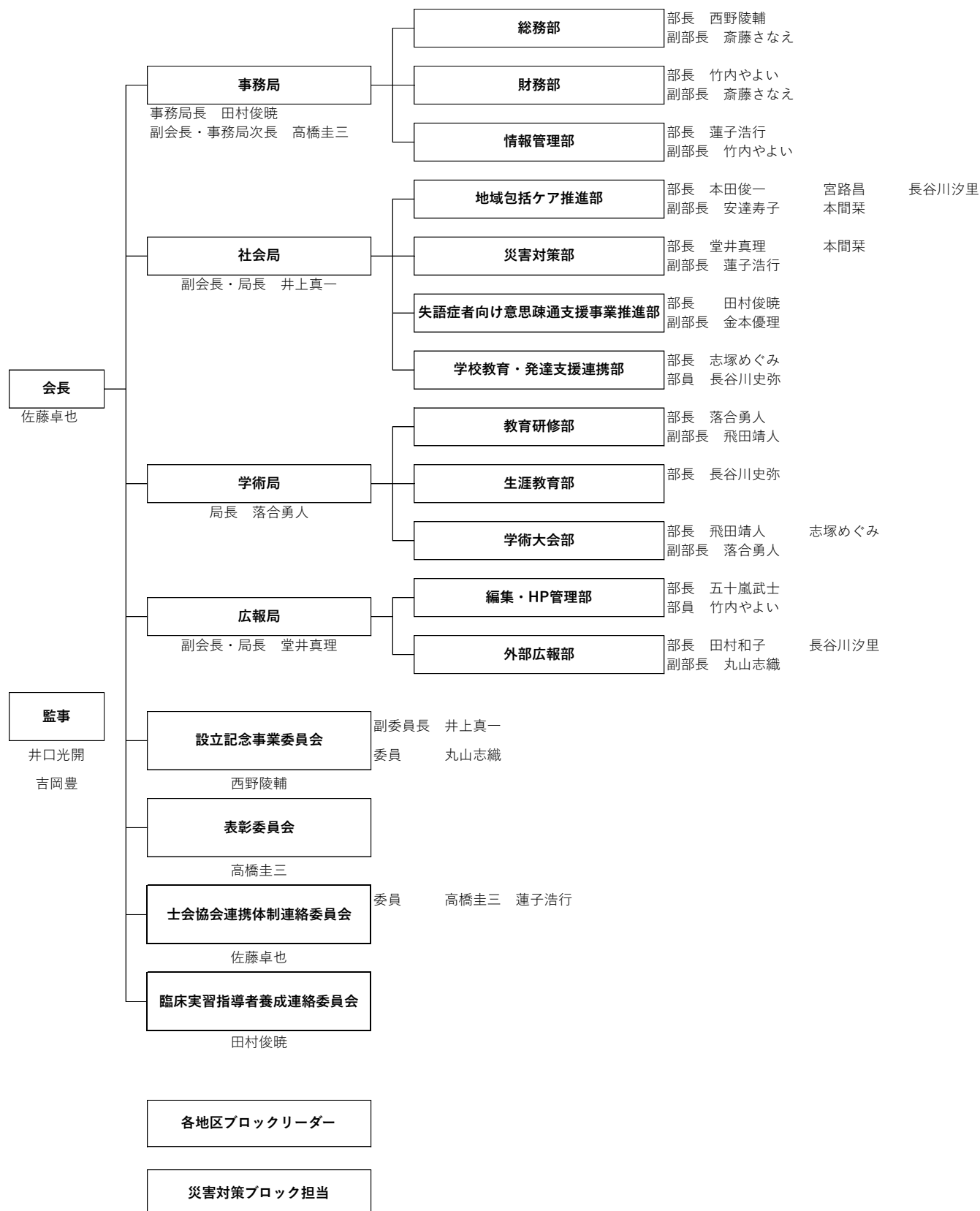
監事 井口 光開 

監事 吉岡 豊 

報告1 組織体制についての件

(1) 組織図は下記の通りである。

新潟県言語聴覚士会運営組織図（2025年6月8日～）



(2) 理事監事は下記の通りである.

会長・代表理事（業務執行役員）	佐藤卓也	
副会長・社会局長（業務執行役員）	井上真一	
副会長・事務局次長（業務執行役員）	高橋圭三	
副会長・広報局長・災害対策部長（業務執行役員）	堂井真理	災害対策副部長 蓮子浩行 災害対策部員 本間菜
事務局長（業務執行役員）	田村俊暁	
学術局長	落合勇人	
総務部長	西野陵輔	副部長 斎藤さなえ
財務部長	竹内やよい	副部長 斎藤さなえ
情報管理部長	蓮子浩行	副部長 竹内やよい
地域包括ケア推進部長	本田俊一	副部長 安達寿子 部員 宮路昌 本間菜 長谷川汐里
教育研修部長	落合勇人	副部長 飛田靖人
生涯教育部長	長谷川史弥	
学術大会部長	飛田靖人	副部長 落合勇人 部員 志塚めぐみ
編集・HP管理部長	五十嵐武士	部員 竹内やよい
外部広報部長（公益事業部と合併）	田村和子	副部長 丸山志織 部員 長谷川汐里
失語症者向け意思疎通支援事業推進部長	田村俊暁	副部長 金本優理
学校教育・発達支援連携部長	志塚めぐみ	
表彰委員長	高橋圭三	
設立記念事業委員長（県士会設立25周年式典準備委員会）	西野陵輔	副委員長 井上真一 部員 丸山志織
士会協会連携体制連絡委員会	佐藤卓也	委員 高橋圭三 蓮子浩行
臨床実習指導者養成連絡委員会	田村俊暁	
監 事	井口光開 吉岡豊	

令和 7 年度事業計画

1. 県士会全体 <会長> 佐藤卓也

- (1) 新潟県リハビリテーション専門職協議会、地域包括ケア支援専門職協議会の活動に参画し、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、県行政、議会との連動を図る。
- (2) 第 3 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会の主幹担当士会として実行委員会を組織し、県理学療法士会および県作業療法士会と連携し開催する。
- (3) (一社)日本言語聴覚士協会および都道府県士会と連携し情報交換を行う。
- (4) 日本言語聴覚士協会の士会協会連携体制構築に協力し推進する。
- (5) 言語聴覚士養成所と連携し臨床実習指導者養成に協力する。
- (6) 県民に対し言語聴覚療法、言語聴覚士の認知度拡大に努める。

2. 事務局 <事務局長> 田村俊暁

財務部

- (1) 県士会の財務管理を行い、活動に関する予算を執行する。
- (2) 行政書士と連携し、一般社団法人としての適切な会計業務を行う。
- (3) 一般社団法人としての適切な税金業務を行う。
- (4) 理事会において予算執行状況を報告する。
- (5) 会費納入督促と管理を行う。また、未納金に対する対策を検討する。
- (6) 定期総会において、会計報告を行う。
- (7) 会計監査に関わる業務を行う。
- (8) 令和 8 年度の予算案を策定する。

総務部

- (1) 定期総会を開催する。
- (2) 理事会、その他会議を開催する。
- (3) 正会員、準会員、学生会員、賛助会員について入退会などの会員在籍事務を行う。
- (4) 必要な書類の発送を行う。
- (5) (一社)日本言語聴覚士協会都道府県士会連絡窓口として情報の収集および提供を行う。
- (6) 各種外部団体との連絡窓口として情報の整理、配信、発信を行う。

情報管理部

- (1) 当士会が開催する研修会の参加費納入システムについて情報収集ならびに導入の検討を行う。

3. 学術局 <学術局長> 落合勇人

教育研修部

- (1) 学術局会議を開催する。

- (2) 研修会等を開催する。
- (3) 県内地域の勉強会関連の情報を収集し、当県士会ホームページで公開する。
- (4) 他団体、他部局と共同し研修会を開催する。
- (5) 会員からの臨床に関する相談を受け付け、対応する。
- (6) 会員からの学術活動に関する相談を受け付け、支援する。

生涯教育部

- (1) (一社) 日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムに関する情報を提供する。
- (2) (一社) 日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム基礎講座、および専門講座を開催する。

学術大会部

- (1) 第3回新潟県リハビリテーション専門職学術大会を企画、運営、開催する。
- (2) 第12回新潟県言語聴覚士会学術大会部会を立ち上げ、企画を行う。

4. 社会局 <社会局長> 井上真一

地域包括ケア推進部

- (1) 介護予防事業において、言語聴覚士の役割、多職種連携の必要性について啓発を行う。
- (2) 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会、新潟県リハビリテーション専門職協議会の活動に参画し、他団体と協同し活動を行う。
- (3) 地域ブロック代表者を中心とし、各市町村で開催される「介護予防のための地域ケア個別会議」への助言者派遣調整、介護予防事業に関わる依頼に対応する。
- (4) 新潟県30市町村からの依頼に対応するため、地域ブロック代表者及び担い手の拡充を進める。
- (5) 地域ブロック代表者会議を開催する。

災害対策部

- (1) 災害時の会員の安否確認・連絡システムの整備・支援体制の整備を強化し、災害支援を迅速に行えるよう働きかける。
- (2) 災害に関する情報やボランティア登録の促進にむけた情報を会員に発信し、支援活動・ボランティアに携わる人材育成に取り組む。
- (3) 新潟県・新潟県災害リハビリテーション連絡協議会（新潟 JRAT）と平時から協力支援体制の強化に努める。

失語症者向け意思疎通支援事業推進部

- (1) 失語症者向け意思疎通支援者養成事業において新潟県、失語症友の会と連携し事業を推進する。
- (2) 厚生労働省主催の失語症者向け意思疎通支援者養成研修講師養成研修会に会員を派遣する。
- (3) 失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の事務員を設置して講習会を円滑に開催する。
- (4) 失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業に関する情報を発信していく。

学校教育・発達支援連携部

- (1) ST派遣事業を継続する（12年目）。学校等からの派遣要請に対してコーディネートする。

- (2) (一社) 日本言語聴覚士協会の「学校教育連携担当者連絡協議会」, 「障害福祉(福祉事業所・小児医療療育施設) 担当者連絡協議会」等に出席し, 全国の動向と自県の課題の把握に努める。

5. 広報局 <広報局長> 堂井真理

編集・HP管理部

- (1) 会員への情報提供のため, 年3回広報誌を作成し, ホームページ上で公開する。
 (2) 迅速で正確な情報の発信に努め, ホームページ・SNSの充実化を図る。
 (3) 県士会会員だけではなく他団体や県民に向けて, 有益な情報提供を迅速に行う。

外部広報部

- (1) 長岡市のすこやか・ともしびまつりに出展し, 医療・保健・福祉・教育分野における言語聴覚士の役割を周知し支援につなげていく。
 (2) 言語聴覚の日のイベント企画等, 言語聴覚士の普及・啓発活動を積極的に行う。

令和7年度 予算案

《収入の部》

作成: 2025 年 4 月

項目	予算案	摘要
会費		
正会員	3,180,000	10,000 円×318 名
新入会員	100,000	10,000 円×10 名
準会員	0	2,000 円×0 名
学生会員	0	1,000 円×0 名
永年会員	9,000	1,000 円×9 名
入会金	20,000	2,000 円×10 名
賛助会費	70,000	10,000 円×7 社
研修会等参加費	430,000	
活動支援金(見込み)	50,000	日本言語聴覚士協会
地域ケア個別会議助言者育成費(見込み)	200,000	新潟県より
失語症者向け意思疎通支援者養成事業等委託金(見込み)	1,764,000	新潟県より ※実費請求となるため支出見込みと同額
設立記念事業積立金	650,102	
災害対策積立金	137,480	
前年度繰越金	3,694,995	前年度負債及び正味財産合計
収入合計	10,305,577	

《支出の部》

項目	予算案	摘要
事務局	1,991,800	
総務部	759,000	
通信費	168,000	約 400 通×2 回×140 円, 切手等代 20,000 円, モバイル wifi 36,000 円
zoom 維持費	66,000	2,750 円×12 カ月契約, ラージミーティング 11,000 円×3 カ月(4~6 月中)
NAS 機器購入	0	

名刺作成費	10000	
印刷費	150000	資料等印刷代
封筒印刷費	50000	角 2(2000 部), 角 3(1000 部)
交通費	200000	理事会, 3 役会議, 新潟県リハビリテーション専門職協議会等交通費
雑費	20000	
理事等出張費	50000	
他団体協力費	15000	会員費, お祝いなど
総会費用	30000	会場費等
財務部	1226800	
行政書士への外注費	462000	1 年間の行政書士委託料 462000 円
電子決済システム費	19800	第四北越インターネットバンキング照会・資金移動サービス 1,650 円/月
税金	100000	
日当	612000	延べ 306 人×半日 2000 円
クレジットカード利用料	5000	年会費 5,000 円/年
通信費	18000	レターパック 600 円×30 部
雑費	10000	
情報管理部	6000	
診療報酬改定等の会議費	4000	
会員アンケートに必要な費用	2000	
学術局	713,000	
学術局会議費	64,000	日当 64000 円
備品・消耗品(什器備品取得支出)	50,000	
教育研修部	390,000	
講師謝礼	100,000	小児関連 30000 円 失語関連 40000 円 嚥下関連 30000 円
講師交通費	90,000	小児関連 30000 円 失語関連 30000 円 嚥下関連 30,000 円
講師宿泊費	36,000	1 泊/人 12,000 円 3 名分
スタッフ交通費	20,000	小児関連 10000 円 嚥下・失語関連 10,000 円
スタッフ日当	24,000	小児関連 12,000 円 嚥下・失語関連 12,000 円
広報媒体・資料印刷費	20,000	小児関連 10,000 円 嚥下関連 10,000 円
会場費	100,000	貸会議室等予定
生涯教育部	134,000	
講師謝礼	45,000	基礎講座 2 コマ 15,000 円(2 時間以内), 専門講座 30,000 円
講師交通費	43,000	基礎講座 3,000 円, 専門講座 40,000 円
講師宿泊費	12,000	専門講座講師 1 泊 12,000 円
スタッフ交通費	12,000	
スタッフ日当	12,000	
郵送・通信費	10,000	受講証明書等の郵送料(切手代金, 封筒費用)
学術大会部	70,000	今年度未開催
学術大会部会	70,000	日当 70000 円
消耗品	5,000	
	5,000	消耗品(封筒, 切手)

社会局	2,274,000	
地域包括ケア推進部		
ブロック代表者会議	200,000	
会場費	90,000	貸会議室等
スタッフ・代表者日当	50,000	25名予定 2000円/1名
交通費	20,000	スタッフ、代表者交通費
資料印刷費	10,000	資料印刷・通信費
会議費	30,000	3回開催予定 1000円×9名 + 訪問リハ会議1回 1000円×3名
災害対策部	77,000	
会議費	27,000	交通費 15000円日当 1000円×12名
新潟県災害リハビリテーション連絡協議会年会費	30,000	
研修会費	20,000	JIMTEF 研修会参加費
失語症者向け意思疎通支援事業推進部	1,764,000	
会場費	250,000	支援者養成講習会および実習地の会場費等
会議費	80,000	年12回開催予定
旅費	160,000	指導者講習会東京都への派遣1名、講習会スタッフ日当交通費
報償費	524,000	支援者養成講習会オンデマンド講義、対面講義、実習の指導
需要費	410,000	講習会での資料印刷等
通信費	100,000	レターパック等の包装・発送費等
事務費	240,000	事務委託費用、講習会受講者および新潟県への資料作成梱包発送作業等
学校教育・発達支援連携部	233,000	
派遣謝礼	200,000	5000円×40ケース
派遣交通費	30,000	
通信費	3,000	切手、一筆箋、宛名シール等
広報局	1,113,500	
広報局会議	31,000	交通費 11000円日当 2000円×5名×2回
編集・HP管理部	530,500	
会議費	8,000	企画会議2回(1開催4名)1人1000円
HP運営費	522,500	HPリニューアル費用 295000円 サーバ・かえるくん使用料 180000円 消費税 47500円
外部広報部	552,000	
会議費	44,000	企画会議4回(1開催5名)1人1000円 イベント企画会議2回(12名)1人1000円
イベント日当	96,000	すこやかともしび祭り(1日6名×2日)1人4000円、ST啓発事業(1日12名)1人4000円
イベント交通費	72,000	すこやかともしび祭り(1日6名×2日)1人4000円、ST啓発事業(1日12名)1人2000円
イベント会場費	10,000	ST啓発事業会場費
印刷費	100,000	県士会リーフレット500部、イベント配布チラシ1000部
イベント景品代	50,000	イベント時PR用の県士会オリジナルグッズ50000円
言語聴覚士PR冊子作製	50,000	PR冊子の作成・印刷500部
広告宣伝費	40,000	県士会の名前入り風船40000円
発送費	80,000	県内高校等次世代へPR冊子500部を発送等
備品購入費	10,000	消耗品購入

特別委員会	764,000	
3 士会合同学術大会実行委員会	754,000	
実行委員会会議費	67,000	6 回開催・7 名分 交通費 25,000 円 日当 42000 円
分担拠出費	400,000	会場費等
講師謝礼	100,000	特別講演 30,000 円×1 セミナー10000 円×4, 30000 円×1
特別講演講師宿泊費	12,000	1 泊 12,000 円
講師交通費	35,000	特別講演講師交通費 25,000 円 講師交通費 10000 円
スタッフ日当	120,000	初日 4000 円×20 名, 二日目 2000 円×20 名
花代	20,000	
表彰委員会	10,000	
資料作成費	10,000	
設立記念準備委員会	22,000	
会議費等	22,000	
士会協会連携体制連絡委員会	20,000	
会議費等	20,000	
臨床実習指導者養成連絡委員会	10,000	
会議費等	10,000	
積み立て金	0	
設立記念事業積立金	0	
災害対策積立金	0	
予備費	3,387,277	
支出合計	10,305,577	

報告 3 ホームページリニューアルおよび定期発送についての件

- (1) 令和 6 年度総会後より広報局にて、セキュリティ対策強化・会員ページの充実化を図り 2025 年 2 月 3 日よりリニューアル公開となったことについて周知を行った。今後も迅速かつ充実した情報発信が行えるよう取り組んでいく。
- (2) 令和 6 年度総会で報告した通り、郵送料の値上げなどに伴う発送費用が非常に高額となるため、今年度以降の広報誌発送は基本的に行わず、上記の新ホームページ内の会員ページにて、広報誌の掲載を行う。

報告 4 日本言語聴覚士協会と各都道府県士会の連携体制についての件

- (1) 士会は都道府県において、地域包括ケアの推進、言語聴覚療法の普及、士会員の資質向上、当事者支援の充実を図ってきた。(一社)日本言語聴覚士協会は、国における言語聴覚療法の普及、協会員の資質向上を目指し、言語聴覚士の活躍の場を広げ、社会に貢献することで認知度の向上、社会的地位の向上を行うと共に、士会の後方支援を行ってきた。この関係をさらに強固な連携にすることで、言語聴覚士の活動の場の拡大、資質向上、認知度および社会的地位の向上を推進することを目指す。
- (2) 令和 6 年度から、士会協会連携体制構築担当者会議が開催され検討を行っており、令和 9 年度から連携体制開始を予定している。そのために以下の項目を推進する。
 - ① 士会協会連携に向けて説明と周知を図る
 - ② 士会、協会の両方の加入を勧める
 - ③ 協会マイページの所属士会の登録を周知する

報告 5 臨床実習指導者講習会についての件

2024 年 4 月より言語聴覚士学校養成所指定規則が改正され、臨床実習指導者が実習生を指導するためには実務経験 5 年以上に加え、臨床実習指導者講習会の受講があらたに必要なになった。学校養成所の修業年限に応じて、最短で 2026 年度から、実習施設において臨床実習生の指導を担当する者は臨床実習指導者講習会の受講が必須要件となる。この臨床実習指導者講習会は、（一社）日本言語聴覚士協会および学校養成所、当県士会が協力して開催をしていく。会員の積極的な参加をお願いする。

報告 6 会員クラウド管理の導入中止についての件

報告 4 のとおり、（一社）日本言語聴覚士協会と各都道府県士会の連携体制が令和 9 年度に構築される予定である。この連携体制が構築されると、会員の名簿や年会費の納入については、一括して（一社）日本言語聴覚士協会に管理されることとなる。そのため、当士会が会員クラウド管理を今年度導入したとしても短期間限定となり、その後にも、（一社）日本言語聴覚士協会の管理に移行することを考えると、会員の混乱を招くことが推測される。以上より、会員クラウド管理の導入を中止することとし、今年度も現行通りとする。

報告 7 第 3 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会についての件

公益社団法人新潟県理学療法士会、公益社団法人新潟県作業療法士会と当県士会の 3 士会合同で行う、第 3 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会を令和 7 年 12 月 20 日（土）および 21 日（日）に朱鷺メッセで開催する。会員の皆様へ積極的な広報を行うとともに、奮ってご参加をお願いする。上記に伴って、令和 7 年度は新潟県言語聴覚士会学術大会は実施せず、令和 8 年度に第 12 回新潟県言語聴覚士会学術大会を開催する。

【その他 資料】

令和 6 年度市町村個別ケア会議 参加実績（件数）

十日町市	10	新潟市	30	村上市	4
出雲崎町	10	阿賀野市	4		
小千谷市	6	阿賀町	3		
燕市	2	新発田市	12	合計	96
佐渡市	10	胎内市	5		

令和 6 年度一般社団法人新潟県言語聴覚士会 活動記録

期日			活動内容	参加者等	場所(市町村)
4 月	4 日	木	学術大会実行委員会会議	理事 3 名, 部員 6 名	WEB
	11 日	木	新潟県リハビリテーション専門職協議会会議	理事 4 名	WEB
	17 日	水	第 1 回学術局会議	理事 7 名 部員 3 名	WEB
	20 日	土	会計監査, 理事会	理事 18 名, 監事 1 名	新潟市・WEB

	30 日	火	広報局会議	理事 5 名	WEB
5 月	8 日	水	第 1 回 3 役会議	理事 5 名	新潟市
	15 日	水	学術大会部会議	理事 4 名, 部員 5 名	WEB
	16 日	木	障害と自動車運転に関する研究会・世話人会	佐藤卓也, 堂井真理他世話人	WEB
	18 日	土	第 2 回理事会	理事, 新理事 17 名, 監事 1 名	新潟市・WEB
	26 日	日	第 11 回新潟県言語聴覚士学術集会	会場参加 71 名, オンデマンド参加 42 名, 計 113 名	三条市
6 月	1 日	土	第 17 回新潟福祉機器展	理事 3 名, 会員 2 名	新潟市
	1 日	土	第 1 回地域包括ケア推進部会議	理事 3 名, 部員 2 名	WEB
	5 日	水	第 1 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会会議	理事 2 名, 部員 1 名	WEB
	6 日	木	新潟県リハビリテーション専門職協議会会議	理事 4 名	WEB
	11 日	火	広報局 ホームページ打合せ会議	理事 4 名	WEB
	12 日	水	第 2 回地域包括ケア推進部会議	理事 7 名, 部員 2 名	WEB
	27 日	木	三役会議	理事 5 名	WEB
	30 日	日	第 1 回研修会 第 2 回学術局会議	理事 3 名, 部員 1 名 理事 5 名, 部員 2 名	新潟市 新潟市
7 月	3 日	水	第 2 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会会議	理事 2 名, 部員 1 名	WEB
	5 日	金	第 88 号 next STage 完成		
	20 日	土	第 3 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会会議	理事 2 名, 部員 1 名	WEB
	20 日	土	失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修修了者の集い	理事 2 名, 部員 1 名	WEB
	23 日	火	第 1 回言語聴覚の日イベント アルビBB事前打ち合わせ	理事 1 名	長岡市
	25 日	木	第 11 回新潟県言語聴覚士学術集会 振返り会議	理事 6 名, 部員 5 名	WEB
	27 日	土	一般社団法人全国介護事業者連盟新潟支部及び障害福祉事業部会新潟支部 合同設立総会	理事 1 名	新潟市
8 月	7 日	水	第 4 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名	WEB
	9 日	金	新潟県リハビリテーション専門職協議会会議	理事 5 名	新潟市
	10 日	土	第 3 回理事会	理事 20 名	長岡市・WEB
	19 日	月	広報局 ホームページ打ち合わせ会議	理事 3 名	WEB
	20 日	火	第 1 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	新潟市民, 実行委員	長岡市

	24 日	土	第 15 回訪問リハ地域リーダー会議	部員 1 名	
	27 日	火	第 2 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	新潟市民, 実行委員	新潟市
9 月	4 日	水	第 5 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名	WEB
			第 1 回県士会広報動画制作会議	理事 4 名	長岡市
	10 日	火	第 3 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	新潟市民, 実行委員	長岡市
	12 日	木	三役会議	理事 5 名	WEB
	14 日	土	すこやか・ともしびまつり 2024	理事 2 名, 会員 5 名	長岡市
	15 日	日	すこやか・ともしびまつり 2024	理事 3 名, 会員 2 名	長岡市
	25 日	水	県民フォーラム講師打ち合わせ	講師, 理事 2 名	新潟市
	26 日	木	第 2 回県士会広報用動画制作会議	理事 4 名	長岡市
	29 日	日	令和 6 年度第 2 回研修会	学術局 5 名 + 参加者 50 名	長岡市
10 月	2 日	水	第 6 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名	WEB
	5 日	土	第 2 回 3 士会合同学会会議 第 4 回理事会	理事 17 名, 学術局 4 名 理事 17 名	新潟市
	9 日	水	第 3 回地域包括ケア推進部会議	理事 5 名, 部員 2 名	WEB
	15 日	火	第 4 回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	新潟市民, 実行委員	長岡市
			県士会広報用動画撮影	理事 4 名, 会員 1 名, 撮影外注業者	長岡市
	17 日	木	新潟県リハビリテーション専門職協議会会議	理事 3 名	WEB
11 月	5 日	火	第 3 回学術局会議	学術局 8 名	WEB
	6 日	水	第 7 回 2024 年度失語症者支援者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 4 名	WEB
			第 2 回言語聴覚の日イベント アルビ BB 事前打ち合わせ	理事 1 名	長岡市
	7 日	木	県民フォーラム会場下見	理事 1 名	新潟市
			県民フォーラム事前打ち合わせ	広報局 5 名, 理事 6 名, 会員 1 名	WEB
	14 日	木	三役会議	理事 4 名	WEB
	16 日	土	令和 6 年度第 3 回研修会	学術局 3 名 + 参加者 50 名	新潟市, WEB
	16 日	土	令和 6 年度ブロック代表者会議	参加者 21 名	新潟市, WEB
	21 日	木	第 89 号 next STage 完成		

	24 日	日	第 2 回 新潟県言語聴覚士会 県民フォーラム	理事 17 名, 会員 1 名	新潟市
	30 日	土	JAS 学校連携協議会	理事 1 名	WEB
12 月	4 日	水	第 8 回 2024 年度失語症者支援 者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 4 名	WEB
	7 日	土	第 3 回 3 士会合同学会会議 第 5 回理事会	理事 17 名, 学術局 3 名 理事 19 名, 監事 1 名, 部員 1 名	長岡市
	11 日	水	第 9 回 2024 年度失語症者支援 者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名, 支援 者 1 名	WEB
	12 日	木	新潟県リハビリテーション専門職 協議会会議	理事 4 名	WEB
	23 日	月	第 3 回言語聴覚の日イベント アルビBB事前打ち合わせ	理事 1 名	長岡市
	28 日	土	言語聴覚の日イベント アルビBB冠スポンサー	理事 15 名	長岡市
1 月	8 日	水	第 10 回 2024 年度失語症者支援 者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名	WEB
	22 日	木	第 3 回新潟県リハビリテーション 専門職学術大会 第 1 回準備委員会会議	PT 士会担当 4 名, OT 士会 担当 2 名, 理事 7 名	WEB
	25 日	土	JAS 障害福祉担当者連絡協議会	理事 1 名	WEB
			第 4 回 3 士会合同学会会議 第 6 回理事会	理事 18 名, 学術局 3 名 理事 20 名, 監事 1 名, 部員 1 名	新潟市・WEB
	29 日	水	第 4 回学術局会議	理事 3 名, 部員 3 名	WEB
2 月	5 日	水	第 11 回 2024 年度失語症者支援 者養成事業推進委員会	理事 2 名, 部員 2 名	WEB
	22 日	土	第 5 回 3 士会合同学会会議 第 7 回理事会	理事 17 名, 学術局 3 名 理事 17 名, 監事 1 名	新潟市・WEB
	26 日	水	第 3 回新潟県リハビリテーション 専門職学術大会 第 2 回準備委員会会議	PT 士会担当 5 名, OT 士会 担当 2 名, 理事 7 名	WEB
3 月	2 日	日	第 90 号 next STage 完成		
	12 日	水	第 4 回 県議会議員との意見交換 会	理事 1 名, 会員 2 名	新潟市
	15 日	土	第 6 回合同学会会議 第 8 回理事会	理事 16 名 理事 18 名, 部員 1 名	新潟市・WEB
	19 日	水	新潟医療福祉大学卒業式大学院 修了式	理事 1 名	新潟市

以上